

韓国におけるランピースキン病発生状況について

韓国におけるランピースキン病の発生状況

(2025年3月18日時点)

江原特別自治道

- ・初発生日：2023年10月23日
- ・発生件数：7件(14)
- ・殺処分対象頭数：63頭(298)

仁川広域市

- ・初発生日：2023年10月23日
- ・発生件数：0件(9)
- ・殺処分対象頭数：0頭(1,048)

京畿道

- ・初発生日：2023年10月20日
- ・発生件数：5件(31)
- ・殺処分対象頭数：89頭(2,060)

忠清北道

- ・初発生日：2023年10月22日
- ・発生件数：3件(8)
- ・殺処分対象頭数：45頭(178)

忠清南道

- ・初発生日：2023年10月19日
- ・発生件数：2件(43)
- ・殺処分対象頭数：56頭(1,971)

全北特別自治道

- ・初発生日：2023年10月24日
- ・発生件数：0件(14)
- ・殺処分対象頭数：0頭(1,087)

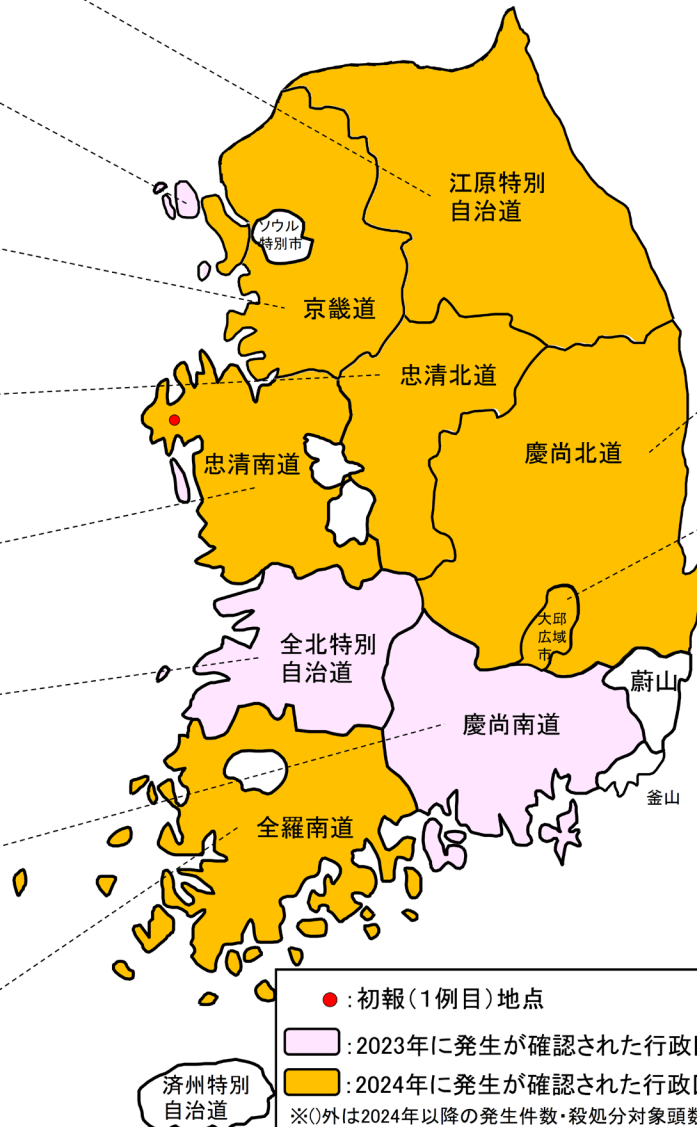
慶尚南道

- ・初発生日：2023年10月30日
- ・発生件数：0件(1)
- ・殺処分対象頭数：0頭(29)

全羅南道

- ・初発生日：2023年10月28日
- ・発生件数：3件(5)
- ・殺処分対象頭数：2頭(180)

農林水産省動物衛生課



	発生件数	殺処分対象頭数
合計	24(131)	304(6,995)
韓牛農家	19(101)	173(4,814)
肉牛農家	0(2)	0(288)
乳牛農家	5(28)	131(1,893)

慶尚北道

- ・初発生日：2023年11月13日
- ・発生件数：2件(4)
- ・殺処分対象頭数：18頭(113)

大邱広域市

- ・初発生日：2024年11月13日
- ・発生件数：2件(2)
- ・殺処分対象頭数：31頭(31)

韓国発生対策

(ワクチン接種)

- ・2023年11月10日付で韓国国内で飼育中の全ての牛に対するワクチン接種を完了。
- ・2024年4月から吸血昆虫(ベクター)が活発になる夏に向け、西海岸や国境付近等の高リスク地域を中心に2回目のワクチン接種を実施。同年8月の再発を受け発生地域と周辺市町村で緊急ワクチン接種を実施。
- ・【予定】2025年4月に全ての牛に対するワクチン接種。
- ・【予定】2026年から段階的に、義務的な接種から農家の自主的な接種へと方式転換。

(殺処分)

- ・初発～2023年11月12日：発生農場単位で殺処分
- ・2023年11月13日～2024年11月24日：感染牛のみ殺処分
- ・2024年11月25日～：試験的に感染牛の殺処分を猶予し、リスク評価を実施中。

(吸血昆虫からの防除)

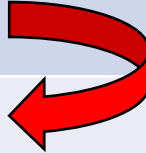
- ・農場内の吸血昆虫に対する防除の徹底を指導・周知。

韓国におけるランピースキン病ワクチン接種について

- ・韓国では、2023年10月に初発事例を確認。

発生後にワクチン接種を開始（MSD社のワクチンを含む3種類を使用）。同年11月10日に全頭ワクチン接種を完了し、以後1年ごとに全頭接種継続。

	発生期間	発生件数
2023年	10月19日～11月20日	107件
2024年	8月12日～12月23日	24件



発生件数が大幅に減少

出典：韓国農林畜産食品部ホームページ

約9ヶ月間発生確認されず

- ・その他、アフリカ、欧州、アジア等の発生国で**ワクチン接種が実施され、清浄化や発生数の減少に寄与**している。
- ・国際獣疫事務局（**WOAH**）や欧州食品安全機関（**EFSA**）もワクチン接種を**防疫ツールとして推奨**。

Vaccination:

- *is the most effective tool for LSD control and potential eradication*
（ワクチン接種はLSDの管理と将来的な撲滅のための最も有用なツールである）